LEICA X1 Firmware Update 2.0

LEICA X1ファームウェア・アップデート - バージョン 2.0

このファームウェアアップデートにより、カメラに多くの機能が追加され、また以下の項目でカメラの性能を向上させることができます。
- 画質の改善
- AF応答の改善、特に低照度および低コントラストの被写体
- マニュアルフォーカスの改善、マニュアルフォーカス操作時は常時開放絞りでピント合わせが可能
- 撮影間隔の短縮

ご注意：
カメラのファームウェア・バージョンは該当メニュー3.33でチェックできます。（取扱説明書p. 23/57参照）

マニュアルフォーカス機能

操作（取り扱い説明書p. 34参照）
設定ホイール(1.18)の回転速度に応じて、フォーカス調整の動きの速度が変わります。
大まかなフォーカス調節：設定ホイールを速く回転する
細かなフォーカス調節：設定ホイールをゆっくり回転する
これにより、より早く、かつ正確にピント合わせができます。

被写界深度（取扱説明書p. 10/11参照）
設定ホイール(1.18)でマニュアル・フォーカスを行うと、液晶モニター(1.27)の下部に表示される距離目盛(2.1.19)には被写界深度の望遠端および近接端を示すマークが出てきます。
これにより、例えばポートレートの場合、被写体の一部分に焦点をあわせて際立たせるか、風景画の場合は、被写界深度（すなわちシャープに描写されるエリア）が、被写体のできる限り広い範囲をカバーするように合わせるかを選択することができます。

AFロック（取り扱い説明書p. 40参照）
マニュアル・フォーカスで設定した位置は、**DELETE/FOCUS**(削除／フォーカス)ボタン(1.15)を2秒以上押し続けることでロックすることができます。
これは意図しない誤設定を防ぐため、また特に同じ被写体を連続撮影する場合に非常に便利です。

その他

- 設定ホイール（1.18）でマニュアル・フォーカスを行うと、液晶モニター（1.27）の下部にメートルおよびフィートの距離目盛(2.1.19)が表示されます。これにより、大まかなフォーカスの事前設定が可能となり、より速いピント合わせが可能となります。

- マニュアル・フォーカス位置設定は、カメラの電源を切入した後にも保持されます（取扱説明書p. 22参照）。 これは、例えば同じ様な距離にある被写体のいくつかのショットが長期間にわたって撮られる場合や、バッテリーを節約するためにカメラの電源を切る場合などに役立ちます。

ISO感度の機能

シャッター・ボタンを半押しすると、すなわちAF設定および露出値設定が固定されると（取扱説明書p. 40参照）、ディスプレー情報がオンまたはオフになっているかにかかわらず（取扱説明書p. 26参照）、カメラにより設定されるISOオート値（2.1.3、取扱説明書p. 29参照）が表示されます。

その他の機能

オートパワーオフメニュー項目（取扱説明書p. 26参照）には1分の設定が加わりました。この追加設定オプションにより、操作条件に合わせた最適の設定が可能になり、バッテリーの消耗を防ぐことができます。